

## 入学と学部移行

### 大塚 榮子 (1期)

昭和29年(1954)4月に北大医学部に薬学科が新設され、理類の定員が40名増員されました。学部移行は2年次10月でした。医学科だけは2年が終わってから試験がありました。

添付の写真は医学部薬学科に移行した学生40名と医学部長をはじめ医学科の教授、衛生、薬化、分析、生薬の教授と薬化の助教授、事務職が写っています。医学部旧建物の中庭で、この写真は北大の記念誌にも載っていますが、男子学生は全員学生服、女子学生は12名、薬学ならば大学に行っても良いと言われて受けた女子もいました。ちなみに北大全体の女子学生は3%でした。薬学の教授はまだ揃っていないので、医学部の先生の講義が結構ありました。

薬学一期生40名には教養部時代ののんびりした生活から、午前びっしりの講義、午後の厳しい実習が始まりました。学科長は衛生の赤木教授で、説明会では「化学が飯より好きなヤツが来い」という演説でした。薬学はドイツ留学の長井長義が東大の医学部に薬学科を作っ

た伝統があり、実習は古典的でした。建物はなく、医学部のあちこちを借りていました。

Gattermannの実験書というドイツ語の本を読まされたり、図書にあるBeilsteinを参照させられたりしました。実習室にドラフトなどはなく、硫化水素を発生させるときは芝生に出て実験しますが、窓から出入りして、医学部長に叱られました。芝生は北5条に面しており、当時は電車が走っていました。分析実習では、るつぼの恒量化を目指した空焼きが、昼間はガス圧が弱く夜遅くまで実験室に残り、初めから夜遅くまで実験することを体験しました。

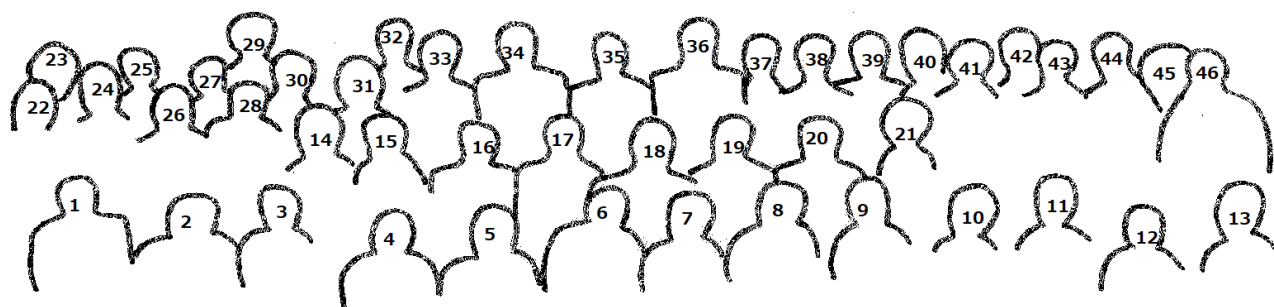
3年生になると有機化学の実習でベンゼンのニトロ化、鉄で還元してアニリン、キノリンからニコチン酸アミドと勝手に進みますが失敗するとやり直し。試薬屋にアニリンを買いに行った学生がいて当然見つかってしまいます。どうなったかは覚えていません。

そのころに「芳香」が誕生したと思います。

同窓会 HP: 2022年7月22日公開

### 六大学医学部薬学科・薬学部設立

	医学部薬学科	薬学部
北 大	1954 昭和29年	1965 昭和40年
東北大	1957 昭和32年	1972 昭和47年
東 大	1873 明治6年	1958 昭和33年
京 大	1939 昭和14年	1960 昭和35年
阪 大	1949 昭和24年	1955 昭和30年
九 大	1950 昭和25年	1964 昭和39年



- |              |           |             |            |              |
|--------------|-----------|-------------|------------|--------------|
| 1.鈴木(相馬) 悦子  | 2.長谷川 功   | 3.竹森 義男     | 4.渡辺 恭一    | 5.羽賀 正信      |
| 6.稲澤 智明      | 7.押野 守    | 8.木村 哲雄     | 9.西藤 洋     | 10.岡田 雅彦     |
| 11.逸見 日出雄    | 12.清水 譲   | 13.関 哲夫     | 14.竹森(西)郁子 | 15.岡本(佐藤)せつ子 |
| 16.寰島        | 17.赤木 満洲雄 | 18.安保 寿     | 19.水野 義久   | 20.          |
| 21.美口 智明     | 22.中川 昌子  | 23.平山(田代)初恵 | 24.松井 幸子   | 25.濱野(石井)正子  |
| 26.藤間(菊池)登代子 | 27.堺沢 節子  | 28.池田(松田)瓊  | 29.横山 晋    | 30.大鹿(小林)道子  |
| 31.大塚 榮子     | 32.平山 忠允  | 33.事務長      | 34.木村 道也   | 35.三橋 博      |
| 36.池原 森男     | 37.村上 俊孝  | 38.伊東 正弘    | 39.稼農 明德   | 40.笠谷 哲市     |
| 41.前田 昭夫     | 42.松原 信義  | 43.清水 良夫    | 44.高橋 良明   | 45.金島 弘恭     |
| 46.村上 一良     |           |             |            |              |